

## 令和2年度第1回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和2年6月15日（月）18:30～20:00

【場 所】 浜益コミュニティセンター

### 【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 令和元年度 地域自治区振興事業実績調書
- 3) 令和2年度 主要施策の概要【浜益区関連】

【出席者】12名（14名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	宮田 勉	○	委員	佐藤 晃一	○	委員	水崎 理	○
副会長	渡邊 隆之		委員	阿部 ゆかり	○	委員	寺山 広司	○
委員	岡本 俊介	○	委員	木村 美幸	○	委員	門脇 弥	
委員	久慈 貞子	○	委員	赤間 香子	○	委員	羽立 裕子	○
委員	鳴海 翔	○	委員	渡邊 真奈美	○			

（地域おこし協力隊） 柿岡奈々絵

（支 所） 畠中支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）、  
宇野市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）  
地域振興課 袴田主査、船橋主査

（事務局） 佐々木地域振興課長、柿崎主査、小貫主任

（企画経済部） 中西次長（厚田浜益担当）（扱 企画課長）

### 【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
  - ① 令和2年度浜益支所体制について
  - ② 令和元年度地域自治区振興事業の実績について
  - ③ 令和2年度主要事業の概要【浜益関連】について
- 4 協議事項
  - ① 地域振興等のアイデアについて
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

## 1 開 会

### 2 会長あいさつ

【宮田会長】

前回2月の会議から4カ月ぶりの開催。その間コロナ騒ぎが始まり、10万円の給付金やアベノマスクの配布をめぐり色々あった。また、中小企業向けの給付金にあってはまだ国会で論争が続いている。

危機に直面する皆さんの手元に一日でも早く給付金が届けられ事業者も我々も安心していつもの生活ができるよう願う。

当地区も最も忙しく活動的な暑い夏になる。今シーズン市内の主な海水浴場は開設されないこととなり、民宿や飲食店一般小売店駐車場などを経営している人達などへの影響が心配される。

そして、子供たちが楽しみにしている各地区の祭りやイベントも軒並み中止になるなど本当に寂しい残念な状況。

地球規模にまで広まったコロナ禍は終息が全く見えない状況となっているが、浜益区で感染者が出ていないことは不幸中の幸い。

国から示された新しい生活様式は大変窮屈で息苦しい生活を強いる内容となっている。

見えないウイルスとの闘いと我慢の日々はもうしばらく続くが何とかこの困難を乗り越え一日でも早く普通の生活ができる日を皆さんとともに待ちたいと思う。

車を走らせると沿道に広がる田んぼは日増しに緑が濃くなり稲の生育が順調に進んでいることを感じさせてくれる。

浜では期待のナマコ漁とウニ漁が明日から始る。安全操業と大漁を心から願う。

### 3 報告事項

#### (1) 令和2年度浜益支所体制について

- ・ 浜益支所長から今年度の支所職員体制について報告。

#### (2) 令和元年度地域自治区振興事業の実績について

- ・ 資料に基づき、事務局から事業実績について報告。

#### (3) 令和2年度主要事業の概要【浜益関連】について

- ・ 資料に基づき、浜益区関連の主要施策の概要について説明。

【宮田会長】

令和2年度の主要事業のうち基金を使っている事業は？

【事務局】

浜益区民コミュニティ普及推進事業からフットパス事業まで。

【宮田会長】

基金残高は？

【事務局】

予算ベースで正確ではないが、3千7百万ほど。

### 4 協議事項

#### (1) 地域振興等のアイデアについて

【事務局】

過去の会議で提案・承認を受けた案件の状況報告

地域おこし協力隊の募集状況について

2月に厚田区と合同で募集していたが、2名の応募があり厚田区で1名採用、浜益区については応募者が現れなかった。

その後はコロナの影響により中断していたが、6月8日から募集を再開した。

募集期間は長期間で設定し来年1月29日までとし、応募者が現れた時点で随時選考し採用となった時点で募集を締め切る。皆さんからも周知をお願いします。

#### 旧適沢コミュニティセンターの利活用について

サウンディング型市場調査事業については、1者の応募があったがコロナの影響により辞退の申し出があり具体的な動きにならなかった。

しかし、NPO法人や浜益観光まちづくり推進協議会から利活用したいとの提案がある。

また、浜益に関わりのあった方から喫茶店として活用したいとの申し入れもあり、そういった方々と具体的な活用方法を模索するため、7月から試験的な活動ができるように施設稼働の準備を進めている。

#### 山村留学について

##### 【渡辺委員】

以前から小中学校の児童数の減少について話を聞かされていた。山村留学の経験談が書かれた一冊の本に出合った。一家で都市部から地方へ留学した話し、小学校の児童数の推移をみると今後の複式は避けられない。今まさに浜益に必要ではないかと思う。

##### 【宮田会長】

どういう仕組みでやっているのか？

##### 【事務局】

国や道にそういった制度があると思うが、受け入れ側の体制整備とホストとのマッチング方法など全体の仕組みを整える必要がある。市町村教委で統一の制度ではなくそれぞれ地域独自の取り組みではないか？

##### 【畠中支所長】

近くでは新十津川の吉野地区で事例がある。高校で言えば奥尻高校。

##### 【渡辺委員】

北海道の事例では平取町、東神楽町、美深町、西興部村、雄武町、鹿追町、新得町、根室市など北海道のホームページに一覧が掲載されている。また支援するNPOも存在する。

##### 【宮田会長】

石狩管内では聞かないし、十勝管内に多くあるイメージを持っている。

##### 【渡辺委員】

コロナの影響でテレワークとか働き方も変わってきている。子供たちは学校に通っても話もできない状況もあると聞く。

親としてはのびのびと暮らせる地方へという人も増えてきているのではと思う。

##### 【水崎委員】

～ 複式学級の仕組み、教員の配置について説明 ～

児童数減少の歯止めをかけるため、一つの学校としてはあらゆるところで良さをPRしているが、留学制度や短期入学など域を超えた活動は難しい。

##### 【宮田会長】

山村留学という制度は古くからあり、子供たちが減少し悩みを抱えている学校はほとんどではないか？次の会議までに仕組みなど事務局から情報提供いただきたい。

##### 【事務局】

昔から山村留学という言葉はあったが、時代とともにその制度がどうなっているのかまでは把握できていない。短期滞在の制度等も含めて調べて今後情報提供する。

#### 全体を通じて

##### 【宮田会長】

協議会としてできることがあれば相談しながら進めていきたい。

地域づくりのアイデアについては今後も永遠につながるテーマだと思う今後もぜひ提案していただきたい。

## 5 その他

- (1) 浜益海プロジェクトについて  
・ 鳴海委員から活動について報告。
- (2) 浜益ご縁米プロジェクトについて  
・ 渡辺委員から活動について報告。
- (3) 沿岸バス特急羽幌号の運行再開について  
・ 開発市民福祉課長から報告
- (4) カフェ・クローバー（高齢者サロン）事業について  
・ 宇野市民福祉課保健福祉担当課長から概要について説明
- (5) 浜益国保診療所の調剤業務の実施について  
・ 宇野市民福祉課保健福祉担当課長から概要について説明
- (6) 選挙投票所運営の見直しについて  
・ 佐々木地域振興課長から概要について説明
- (7) 川下・柏木コミュニティセンター代替え施設の検討状況について  
・ 佐々木地域振興課長から報告
- (8) 地域おこし協力隊活動について  
・ 柿岡隊員から近況を報告
- (9) 議事録の作成方法について  
・ 事務局から、記録方法は「要点記録」とし、確認方法は「会長から確認」していただく旨を提案し、了承。

## 6 次回の開催日程について

- ・ 第2回協議会は、今のところ7月上旬を予定しているが、後日改めて連絡する。

## 7 閉 会

令和2年 6月24日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮 田 勉